

令和3年度後期終業式 校長式辞

令和3年3月24日（水）

おはようございます。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症が学校生活の様々なところに影響を与えました。

目の前に迫ってくる様々な課題を解決しようと、懸命に学習、学校行事、部活動、探究活動等に向き合ってくれた皆さんに、改めて敬意と賛辞を送ります。

高志中学校2期生を含む3年生の先輩達は、第6波が全国的に猛威を振るう中、果敢に受験に臨み、過去最高に難化した大学共通テスト、私立大学、国公立大学の個別試験等を乗り越えて、3月15日（火）に高志高校を卒業していきました。

第1志望の大学に進学する生徒、第2志望以下の大学に進学する生徒、来春の栄冠をめざして、もう1年頑張る決断をした生徒等、各人各様の3月を迎えているようです。

多くの生徒が福井県を離れ、今まで見ることのなかった景気を見て、今まで出会うことのなかった人と出会うのだと思います。

1、2年生の皆さんも、勇気と覚悟をもって、先輩達に続いてくれたらと思います。そのためにも、春休みを有意義に過ごして、新学年への準備をすすめてください。

今日は、「越境」という言葉について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

「境」を超える、「境界」を超えると書いて、「越境」です。大学進学を機に福井県を出ることも「越境」の一つかもしれません。

皆さんが「越境」と聞いて、思い浮かべることは何でしょうか。10秒ほど時間を取りますので、隣の人や前後の人と話し合ってみてください。

はい、ありがとう。

ロシアのウクライナ侵攻を話題にした人、手をあげてください。

二度の世界大戦を経験して、平和と自由を大切にしようと思った人類は、その後地域紛争やテロとの戦いこそあったものの、国家間の戦争という事態はしばらく経験していませんでした。

ロシアの侵攻は首都圏に迫り、映画の中でしか見なくなった景色が現実のものになっています。民間人の犠牲も多数に上っています。ウクライナだけでなく、ロシアにも犠牲者が出ています。

10秒ほどはかります。

犠牲になった人を悼み、平和を祈る黙とうをお願いします。立ち上がりましょう。

(黙とう)

ありがとうございます。座ってください。

黙とう以外にも、私達にできること、高志高校生にできないことがないか、皆さんで考えて、実際に行動に移してもらえると嬉しいです。他の高校にも働きかけて、福井の高校生の動きを作ってもらえると、もっと嬉しい。

「越境」に話を戻します。

今さっき、僕は「他の高校にも働きかけて、福井の高校生の動きを作ってもらえると嬉しい」と言ったけど、学校と学校の「境」を超えて連帯するというのも「越境」だと思います。

「境界」は至るところに存在します。

目に見えるものとして存在する場合もあるし、見えない場合もあります。

多くの場合、「境界」の内側は、私達にとって安心・安全な空間だったり、時間だったりします。

自分を中心として、「境界」までの空間が大きい人もいれば小さい人もいます。

「境」を超えると、異質なものととの出会いが始まります。多くの場合はジレンマを抱えます。

そのときに、どのような思考をして、どのような言動をとるかで、私達の生活が変わっていきます。

大げさなことを言うと、人生が変わります。

居心地の良い場所、居心地の良い人間関係から、「境」の外側に一歩足を踏み出してして、これまで自分が見なかった景色を見て、これまで自分が出会わなかった人と出会う勇氣を持ちましょう。

最近、ダイバーシティとかインクルージョンという言葉が示すとおり、言語、宗教、肌の色や髪の毛の色など、文化的・身体的要素が様々に異なる人々が、チームやコミュニティを作って、チームの目標を達成しよう、あるいは、平和で民主的な社会、持続可能な社会を創ろう、とする動きが、人々に理解され、支持されるようになってきました。

ラクビーやサッカーのようなスポーツが分かりやすいですが、トヨタやソフトバンク等の大きな会社から福井県内の小さな会社に至るまで、はたまた、町内会の自治会活動に至るまで、多様性を重視することで会社や地域の活力を高めようという動きが重要視されています。

皆さんは、生徒主体で、でも生徒だけでなく、先生方、PTAや同窓会といった大人、NPO団体の人々と連携して、校則改正を成し遂げました。

これも「越境」の成功例だと思います。

他の高校の生徒と海洋プラスチックゴミを収集し、眼鏡フレームに再生するというプロジェクトに取り組んで、実際に収益を上げた1年生がいます。

地元の企業とコラボレーションして、新しい商品や新しいイベントを考えた2年生がいます。

これらも「越境」の成功例です。

高校と中学校の間、高志中学校卒業の人と市町の中学校卒業の人の間、3年生と1・2年生、生徒と先生、学校の中には様々な「境界」があります。

僕は、皆さんに大いに期待しています。

そうした「境界」を軽々と超えて、「越境」して、他の高校や中学校にないユニークな学校を作ってください。

高志高校・高志中学校が、これまで以上に多様性を重んじる学校、校訓「敬愛」の精神を具現化している学校であり続けることを期待しています。

生徒の皆さんが、様々な違いを「越境」して、目標実現のためにチームで取り組む学校、ときには校種や学年を超えてチームで努力を続ける学校、平和で民主的なコミュニティのために知恵を出し合う学校であってほしいと願っています。

春の訪れを全身に感じながら、4月からの新学年で順調な滑り出しができるよう、心身のリフレッシュと決意を固める春休みを過ごしてください。